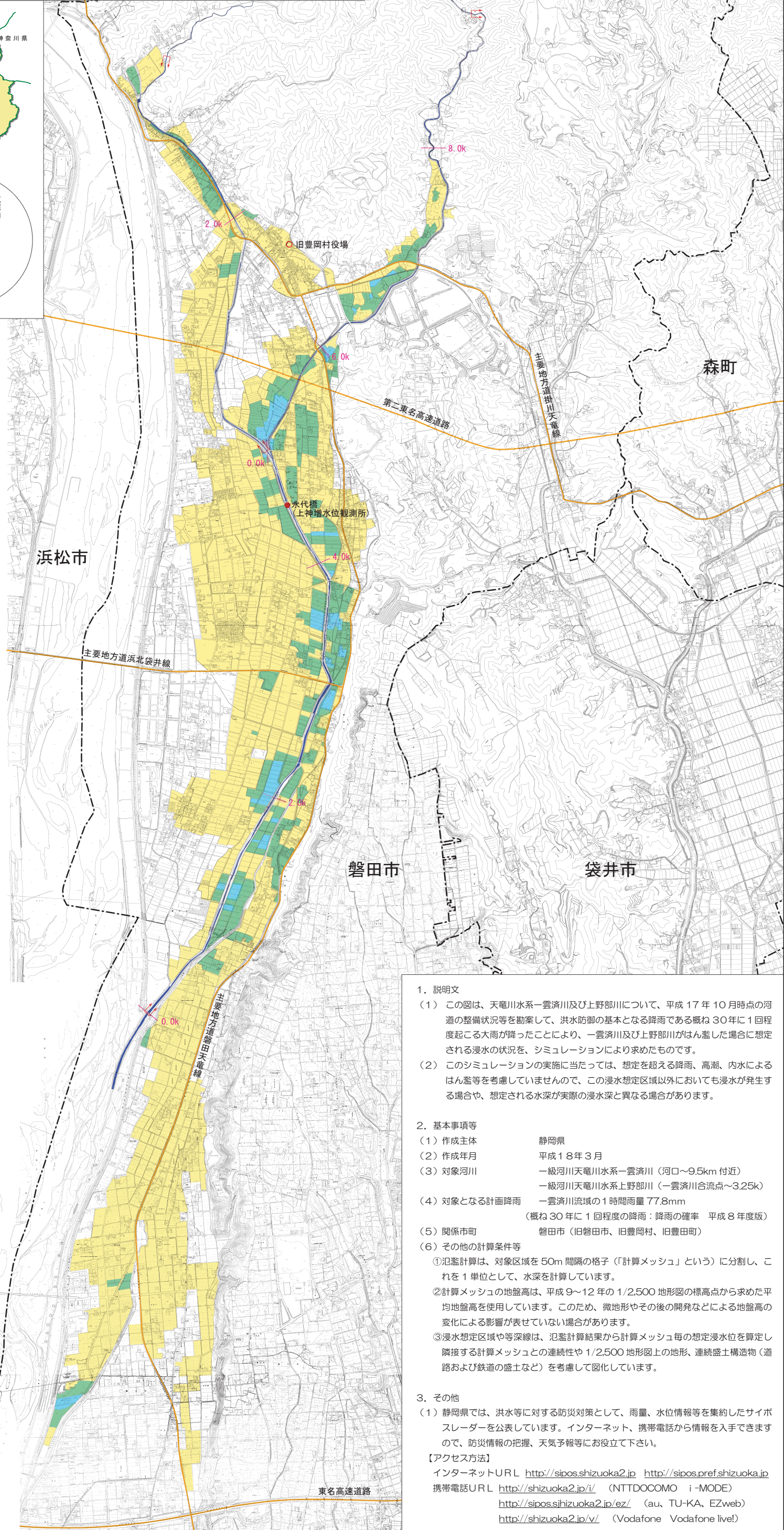
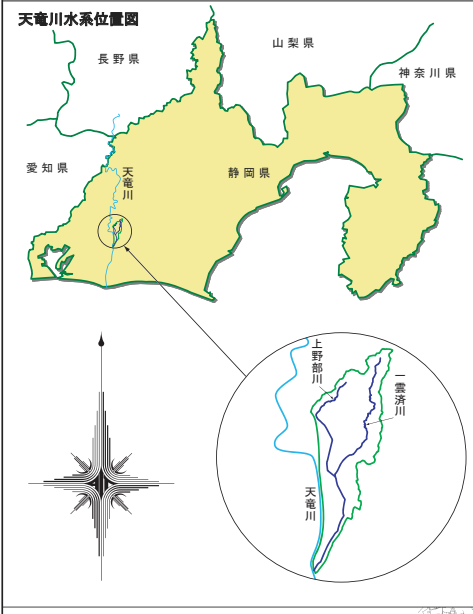


天竜川水系一雲濟川、上野部川浸水想定区域図



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 市町境界
- 浸水想定区域の対象となる河川

0m 250m 500m 750m 1000m

1 : 10,000

平成18年3月作成

1. 説明文

(1) この図は、天竜川水系一雲濟川及び上野部川について、平成17年10月時点の河道の整備状況等を勘案して、洪水防衛の基本となる降雨である概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、一雲濟川及び上野部川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(2) このシミュレーションの実施に当たっては、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 静岡県
 (2) 作成年月 平成18年3月
 (3) 対象河川 一級河川天竜川水系一雲濟川(河口~9.5km付近)
 一級河川天竜川水系上野部川(一雲濟川合流点~3.25km)
 (4) 対象となる計画降雨 一雲濟川流域の1時間雨量77.8mm
 (概ね30年に1回程度の降雨:降雨の確率 平成8年度版)
 (5) 関係市町 磐田市(旧磐田市、旧豊岡村、旧豊田町)
 (6) その他の計算条件等

① 氾濫計算は、対象区域を50m間隔の格子(「計算メッシュ」という)に分割し、これを1単位として、水深を計算しています。

② 計算メッシュの地盤高は、平成9~12年の1/2,500地形図の標高点から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形やその後の開発などによる地盤高の変化による影響が表せていない場合があります。

③ 浸水想定区域や等深線は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し隣接する計算メッシュとの連続性や1/2,500地形図上の地形、連続盛土構造物(道路および鉄道の盛土など)を考慮して図化しています。

3. その他

(1) 静岡県では、洪水等に対する防災対策として、雨量、水位情報等を集約したサイボスレーダーを公表しています。インターネット、携帯電話から情報を入手できますので、防災情報の把握、天気予報等にお役立て下さい。

【アクセス方法】
 インターネットURL <http://sipos.shizuoka2.jp> <http://sipos.pref.shizuoka.jp>
 携帯電話URL <http://shizuoka2.jp/i/> (NTTDOCOMO i-MODE)
<http://sipos.sjshizuoka2.jp/ez/> (au, TU-KA, EZweb)
<http://shizuoka2.jp/v/> (Vodafone Vodafone live!)